

かき



2023.1.1 vol.256 Contents

- 河川協会長新年挨拶 P1
- 日本水大賞 P2
- 河川愛護絵画コンクール P3~P5
- 河川事業現地研修 P6
- 第19回ふくおか水もり自慢! P7~P8
- ふくおかの身近な川とさかなを知ろう!
No.11 アベハセ、ウロハセおよびチチブの分布と生態について
..... P9~P10
- 河川協会からのお知らせ

年頭のご挨拶

新年あけまして おめでとうございます



福岡県河川協会

会長 え がしら 江頭 しょう いち 祥一

福岡県議会県土整備委員会委員長：嘉麻市選出
(薬剤師、ケアマネージャー、防災士)

新しい年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年の秋は、日本中が、サッカーのワールドカップの話題で大いに盛り上がりました。日本代表チームが、強豪国であるドイツとスペインに勝利したことは、世界中の人々を驚かせました。北京冬季オリンピック・パラリンピックで活躍した日本選手も併せて、私たちにたくさんの勇気と感動を与えてくれました。

一方で、去年は、世界各国で発生した異常気象により、多くの地域で被害が発生しました。パキスタンや南アフリカ、オーストラリアなどでは、豪雨による洪水や土砂崩れで多くの人が被災し、西ヨーロッパやインドでは、記録的な熱波や干ばつにより、熱中症で亡くなられた方や農作物への被害が生じました。

また、日本でも、猛暑の後、大雨や台風が猛威を振るい、他県では、死者や建物の全半壊など大きな被害が発生しました。9月中旬の台風第14号では、宮崎県内で総雨量が1,000ミリ近い大雨を観測し、土砂災害などによる被害が発生しました。

福岡県でも、7月の台風第4号により、大牟田市で1時間に115ミリという猛烈な雨が降り、その後も県内では度重なる大雨で、多数の建物が浸水する被害が生じました。被災された皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。

このような大雨に備えて、福岡県や県内の市町村では、被災した川や道路などの復旧、河川の堤防など必要な箇所を改修する事業を行っています。福岡県河川協会では、これらの事業が円滑に進むよう、市町村職員等を対象とした災害復旧実務講習会や河川事業現地研修会を開催するなど、県や市町村の事業を支援する取組を行うとともに、河川について、ホームページや機関誌「かわ」による情報の発信にも努め、県民の皆様が安心して生活できる県土の形成に寄与してまいります。引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



第24回 日本水大賞 国土交通大臣賞受賞

筑後川まるごと博物館運営委員会



表彰状を手に齊藤国土交通大臣と共に



受賞活動発表会

令和4年6月14日(火)に、「第24回日本水大賞・2022日本ストックホルム青少年水大賞」の表彰式・受賞活動発表会が、秋篠宮皇嗣殿下のご臨席のもと、日本科学未来館で開催され、筑後川流域で活動されている筑後川まるごと博物館運営委員会の皆様が、「昭和28年筑後川大水害の伝承活動」で栄えある国土交通大臣賞を受賞されました。

筑後川まるごと博物館運営委員会は、筑後川流域をまるごと一つの博物館とみなして、ありのままの川の姿を流域内外の人々に伝えることを目的とした市民団体で、平成15年3月に発足しています。

筑後川防災施設ぐるめウスを拠点に大人向け学習会や子ども向け環境教室などを行い、多世代が筑後川を身近に感じて学ぶことができる様々な体験学習活動をしています。

特に、昭和28年筑後川大水害については、大学での公開講座や各地のイベントへの出張講座、出張写真展、ワークショップでの発表等、様々な形で伝承活動をしています。

長年の地道な努力と工夫が評価されて、今回の受賞となりました。



当時の写真とともに
大水害の惨状を体験者の証言で伝える



筑後川流域に甚大な被害をもたらした
昭和28年筑後川大水害

筑後川まるごと博物館運営委員会
TEL&FAX 0942-21-9311

動画でも
紹介して
います



日本水大賞HP

<http://www.japanriver.or.jp/taisyo/jyusyoushiki/no24/index.htm>
(右のQRコードからもアクセスできます)



令和4年度

表彰式

河川愛護絵画コンクール

第19回ふくおか水もり自慢in北九州において令和4年度福岡県河川愛護絵画コンクール表彰式が行われました。

特等の3名、一等の4名が出席され、受賞者には表彰状と表彰盾が、福岡県県土整備部河川整備課の北野課長から授与されました。

- 日時 令和4年12月4日(日)13:00~
- 場所 黒崎ひびしんホール
(北九州市八幡西区岸の浦2丁目1-1)



河川愛護事業
イメージキャラクター
よみガエルくん

特等



低学年特等 久留米市立合川小学校
2年 轟田 陽斗さん

特等



中学年特等 飯塚市立菟田小学校
3年 高橋 侑馬さん

特等



高学年特等 みやま市立瀬高小学校
5年 牧嶋 成月さん

1等



一等 福津市立津屋崎小学校
1年 諫元 颯香さん

1等



一等 みやま市立桜舞館小学校
2年 森 有駕さん

1等



一等 みやこ町立久保小学校
4年 後藤 寛奈さん

1等



一等 福岡市立早良小学校
5年 藤村 湊さん

特等



特等受賞者

1等



一等受賞者

受賞者の皆さん、おめでとうございます!!

過去の受賞作品はこちら

URL:<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/concours/>



河川愛護絵画コンクール

優秀作品の講評

福岡県教育庁義務教育課指導班 指導主事 岩村 慶悟 氏

特等

低学年



枝の先にとまっているトンボを自分の指先にとませようとする様子が画面いっぱいに描かれています。作者の観察の目は、トンボの透き通る羽の模様や足の毛脛(けずね)にまで及び、川の中には、その幼虫であるヤゴも描かれています。川に集う様々な生き物と人との関わりが一枚の絵の中にしっかりと表現された作品です。

久留米市立合川小学校 2年 鶴田 陽斗 さん

特等

中学年



川辺で過ごした楽しい夏の思い出をクレヨンと水彩絵の具の特徴を生かして描くことができています。作品からは、川の水の心地よさや流れによって丸く削られた石の感触が伝わってきます。緑や赤、黄色や青などの鮮やかな色を使いながらも落ち着いた色調の画面に見えるのは、パレットの上で丁寧に色を混ぜて彩色しているからでしょう。

飯塚市立菰田小学校 3年 高橋 侑馬 さん

特等

高学年



縦向きの構図で画用紙をいっぱいに使い、「私たちと川との関わり」というテーマを見事に表現しています。勢いを感じさせる水しぶきの表現に加え、浮き輪に乗って岩肌を滑り落ちる瞬間のワクワクドキドキした気持ちに満ちた表情や、緊張で力が入った足先の様子など、細部までしっかりと表現された力作です。

みやま市立瀬高小学校 5年 牧嶋 成月 さん

1等



福津市立津屋崎小学校 1年
諫元 颯香さん



みやま市立桜舞館小学校 2年
森 有駕さん



みやこ町立久保小学校 3年
永田 葵夏さん



みやこ町立久保小学校 4年
後藤 寛奈さん



福岡市立早良小学校 5年
藤村 湊さん



志免町立志免西小学校 6年
水口 莉杏さん

2等

1年	北九州市立松ヶ江南小学校 那珂川市立安德小学校 大牟田市立三池小学校	丸谷 悠祐 満田 愛莉 柴田 凌道
2年	八女市立福島小学校 みやま市立瀬高小学校 築上町立葛城小学校	橋本 いろは 宮本 結衣 末松 俐衣紗
3年	北九州市立松ヶ江南小学校 みやま市立開小学校 久留米市立山川小学校	福島 愛梨 龍 巧人 権藤 吏桜
4年	苅田町立馬場小学校 福岡市立三苫小学校 那珂川市立岩戸北小学校	白川 翔太 諸節 慶 岸川 実生

3等

1年	北九州市立松ヶ江南小学校 柳川市立中山小学校 豊前市立千束小学校	原口 拓大 新開 巧人 熊本 碧
2年	久留米市立山川小学校 糸島市立東風小学校 篠栗町立篠栗小学校	かたふち みり 大浦 旬平 村嶋 勇人
3年	八女市立黒木小学校 みやま市立桜舞館小学校 篠栗町立篠栗小学校	大石 愛來 菊池 能敬 佐々木 優成
4年	糸島市立前原小学校 志免町立志免西小学校 みやこ町立久保小学校	神田 葵奈 浅原 千晴 元松 泰晴
5年	豊前市立八屋小学校 大野城市立月の浦小学校 苅田町立馬場小学校	西ノ明 咲栄 永峯 理帆 本間 遥音
6年	春日市立天神山小学校	内田 陽菜

6年	糸島市立東風小学校 糸島市立東風小学校	奥村 瑠華 宮副 莉子
----	------------------------	----------------

佳作

1年	福岡市立箱崎小学校 八女市立黒木小学校 行橋市立延永小学校	乾 晴喜 篠原 莉心乃 松清 大登
2年	豊前市立八屋小学校 大野城市立御笠の森小学校 宗像市立日の里西小学校	長尾 汐莉 高鍋 春健 池田 心陽
3年	古賀市立古賀西小学校 朝倉市立金川小学校 糸島市立東風小学校	原口 愛菜 井上 龍真 滝本 透理
4年	鞍手町立剣北小学校 北九州市立松ヶ江南小学校 北九州市立大里柳小学校	松下 桜子 城戸 拓巳 長野 結也
5年	久留米市立山川小学校 八女市立福島小学校 大野城市立御笠の森小学校	大石 結心 栗原 ひまり 浅田 都友
6年	宗像市立日の里西小学校 宗像市立日の里西小学校 志免町立志免西小学校	中尾 暁一 福田 彩葉 國澤 心春

3年	みやこ町立久保小学校 上毛町立唐原小学校 行橋市立延永小学校	磯 真鍋 高橋 翔 駒井 永田
4年	春日市立天神山小学校 福津市立津屋崎小学校 みやま市立瀬高小学校	諫元 妃莉 庄村 陽菜 國澤 陽葵
5年	志免町立志免西小学校 広川町立下広川小学校 苅田町立与原小学校	渡邊 稜人 太田 歩武 佐藤 新奈
6年	苅田町立与原小学校 みやこ町立久保小学校 北九州市立松ヶ江南小学校	西村 玲吾 井尻 鈴華 矢野 実織
7年	北九州市立松ヶ江南小学校 行橋市立行橋北小学校 豊前市立千束小学校	松田 みつき 重吉 めぐみ 林 鴻志郎
8年	古賀市立舞の里小学校 朝倉市立金川小学校 篠栗町立篠栗小学校	和智 惠亮 佐々木 漣世 萩原 咲
9年	志免町立志免南小学校 苅田町立馬場小学校 苅田町立与原小学校	川崎 奏翔 吉原 唯夏 藤岡 珠優
10年	北九州市立松ヶ江南小学校 久留米市立山川小学校 宗像市立日の里西小学校	吉武 歩夢 池田 澤里 佐藤 一織
11年	宗像市立日の里西小学校 みやま市立桜舞館小学校 糸島市立東風小学校	管原 彩乃 中園 瑠々 林 芽踏
12年	広川町立下広川小学校 苅田町立与原小学校 苅田町立与原小学校	尾崎 翔磨 野口 璃音 宮崎 寧

令和5年度も河川愛護絵画コンクールを行う予定です。学校を通じて募集をおこないますので、皆様ぜひご参加ください。

スケジュール(予定) 案内 / 令和5年5月下旬頃、応募締切 / 令和5年9月初め、入賞者決定 / 令和5年10月頃、表彰式(特等、1等のみ) / 令和5年12月頃

河川事業現地研修会(栃木県)に参加して

須恵町役場 都市整備課 主事 小山田 貴



【一級河川思川災害復旧事業】

令和4年11月1日から2日に福岡県及び県内市町村の職員など総勢25名で、令和元年東日本台風(台風第19号)で甚大な災害に見舞われた栃木県を視察致しました。

1か所目は、栃木県栃木土木事務所職員の方から利根川水系巴波川(うずまがわ)と利根川水系永野川について、2か所目は、栃木県鹿沼土木事務所職員の方から利根川水系思川(おもいがわ)について、それぞれ、災害復旧状況と今後の取組みなどの説明をしていただきました。

それぞれ、貴重な体験談や取組みをご教示いただいたのですが、本稿では、全国的にも大きく報道された利根川水系思川の状況について、報告させていただきます。

令和元年東日本台風では、10月11日から13日朝にかけて、栃木県内14市町に大雨特別警報が発表されるなど記録的な大雨となり、県内13地点で観測史上最大の累加雨量を記録しました。思川流域の特に多いところでは、累加雨量が474mmを観測し、24時間で465mm、1時間当たり最大で64mmの雨量を観測しました。被災原因は思川の流下能力を超える洪水により、河川の水が堤防を越え、堤防が侵食を受けて決壊したことにより発生しました。

これらの復旧に対して、思川の柳橋から久野橋までの一連区間3.2kmについて、今回と同規模の大雨が降っても、河川の水が堤防から溢れない改良復旧を目指し、併せて堤防強化緊急対策プロジェクト事業を実施し、堤防を厚くして、川表・堤防天端・川裏までコンクリート等で保護することで越水した場合でも長時間耐えることができる粘り強い堤防構造に強化していることを教えていただきました。

このほか、ソフト対策として、「雨量・河川水位情報とちぎりリアルタイム」など県民の迅速な避難行動や水防活動の目安となるように、情報発信にも力を注ぎ、住民自らの避難の促進に努めているとのことでした。

この視察を通して、栃木県職員の方の「再度災害を防ぎ、住民の安全と安心を守る」という強い意志と懸命な取組みを学ばせていただき、私達も公共土木施設管理者としての仕事の責任を強く感じました。最後に、多忙な中、視察の対応をしていただきました栃木県職員の皆様と、今回の機会を設けて頂いた福岡県河川協会の皆様に厚く御礼を申し上げます。

ふくおか水もり自慢!

第19回 ふくおか水もり自慢!in北九州を開催しました!

令和4年12月4日(日)に北九州市にある「黒崎ひびしんホール」において、「第19回ふくおか水もり自慢!in北九州」を開催しました。

「ふくおか水もり自慢!」は、福岡県内の「水」・「もり(森)」(山林、川、ため池、水田、水路、海、干潟など)に関わる活動をしている団体(学校、市民団体、NPO、企業、国、地方自治体)が一堂に会し、団体間の交流や行政と市民団体の交流を促進するとともに、他団体の活動の状況や手法から課題解決の糸口を見つけ、今後の活動の糧とするためのイベントです。福岡、筑後、北九州、筑豊の4ブロックを持ち回りで毎年1回開催しています。

今年の「ふくおか水もり自慢!」は、テーマを「市民の声から始まる自然再生」として、一般の方もオンラインで聴講できるようにしました。当日は、オンラインも含めて約300名の方々にご参加頂きました。

午前中は「紫川のタナゴ」にスポットをあてて、NPO法人北九州・魚部の青木新吾様にご講演いただき、その後講演頂いた内容をもとに、有識者の皆様や、講演いただいた青木様、北九州市、福岡県によるシンポジウムを行いました。

午後からの活動発表では29団体の発表があり、市民団体や行政、大学などが、寸劇やパワーポイント等を用いた活動発表を行いました。昨年に引き続き今年もコロナ禍で思うような活動ができなかった中で、率直な思いを発信し、参加者と共有することができました。

来年度は筑豊ブロックで開催する予定です。詳細については来年度に福岡県県土整備部河川整備課ホームページ等でお知らせします。多くの方々のご参加をお待ちしております!



福岡県河川愛護事業キャラクター
よみガエルくん

第19回ふくおか水もり自慢!in北九州 当日のプログラム

- 9:00 受付・開場
- 10:00 開会式
- 10:20 【報告】「紫川のタナゴは絶滅したのか？」
- 10:40 【シンポジウム】
紫川で絶滅したタナゴ類と淡水ニ枚貝のことから考える、治水の未来について
- 12:00 昼休憩
- 13:00 絵画コンクール表彰
- 13:20 活動報告セッション(29団体)
- 16:50 閉会式



【活動報告】

各団体はそれぞれの活動を持ち時間3分で披露します。今回は29団体の発表がありました。劇やパワーポイントなどで各団体の活動を報告し交流を深めました。

【発表団体(敬称略、順不同)】(29団体)

セッション①(8団体)

- (公財)北九州市どうぶつ公園協会 到津の森公園
- マリンワールド海の中道
- 龍王・山・里・川の会
- 遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会 作業部会
- 福岡県県土整備部 河川管理課・河川整備課
- 山田緑地管理事務所
- 一般社団法人ふくおかFUN
- 古賀市環境課

セッション②(6団体)

- 久留米工業大学 学生団体 PICTURE
- NPO法人北九州・魚部
- めだかの学校
- 遠賀川生き物調査隊
- 水と緑の楽校
- 特定非営利活動法人 アザメの会

セッション③(7団体)

- 九州産業大学
- 九州大学大学院工学研究院流域システム工学研究室
- 豊の国海幸山幸ネット
- 明治学園中学高等学校
- 明治学園中学高等学校 自然科学部
- 遠賀川流域子ども水フォーラム
- 古賀市ほたるの会

セッション④(8団体)

- ASCJ(Aloha Style Clean Japan)
- NPO法人遠賀川流域住民の会
- 堀川再生の会・五平太
- はかたわん海援隊
- ふくおかの川と水の会
- 古賀河川図書館
- 笹尾川水辺の楽校運営協議会
- 遠賀川親めだかの会

【当日の様子】



開会式



シンポジウム



活動報告①



活動報告②



活動報告③



活動報告④

ふくおかの身近な川と さかなを知らう！

No.11

いぬい
乾
りゅう てい
隆 帝

アベハゼ、ウロハゼおよびチチブの分布と生態について

乾です。前号では、河川水辺の国勢調査のデータを用いて、ミミズハゼとヒメハゼの全国における分布パターンと生態の関係性について書いていきました。今回も引き続き、ハゼ類の分布と生態について、分布河川数の多かった順に説明していきたいと思います。

4月号で、1992年から2017年までのデータを集計した結果、生息する水系の数が5番目に多かった種がアベハゼ *Mugilogobius abei* (図1) です。109水系中71水系で生息が確認されました (図2)。アベハゼは、全長が約5cm程度の魚です (岩田 2005)。本種は、北は宮城県の鳴瀬川から、南は鹿児島県の肝属川まで分布しています。これまで登場してきたハゼ類の中では比較的南方寄りの分布をしていて、北海道および東北地方の日本海側、牡鹿半島以北の太平洋側では確認されていないという特徴があります。関東地方以南・以西の太平洋側では比較的多くの河川で確認されており、久慈川、富士川、狩野川、安倍川、大井川、紀の川、太田川以外からは確認されています。ただ、これらの水系の中で、私がアベハゼを実際採集した河川もありますので、河川水辺の国勢調査の調査地点が、生息環境と重複していなかった可能性も十分考えられると思います。北陸地方以南・以西の日本海側は、太平洋よりは確認されている河川数がやや少なく、荒川、信濃川、関川、姫川、黒部川、常願寺川といった北陸地方の河川や、天神川、日野川、江の川といった中国地方の河川で確認されていません。本種は、河川汽水域の上流から下流まで比較的広く生息していますが、自然度の高い河川では、例えばヨシ原の中のタイドプールのような、比較的地盤が高く、河川本流と水交換が悪いような環境に生息している印象があります。ですので、潮間帯が少ない河川で探すのが意外と難しいのですが、不思議なことに、水質が悪く、他のハゼ類がほとんど生息できないような都市河川では、潮間帯が少なくても本種が優占種になることがあります。本種は、尿素回路を通じてアンモニアから尿素合成できる能力が高いため、他のハゼ類が生息できないような水質の悪い環境に生息できると言われています。一般的にアベハゼが優占してしまうと環境が良くない河川だと思われがちですが、アベハゼを見つけるのが難しい河川もまた、環境の多様性に乏しい良くない河川だと言えると思います。

生息する水系の数が6番目に多かった種がウロハゼ *Glossogobius olivaceus* (図3) です。ウロハゼは、109水



図1 アベハゼ

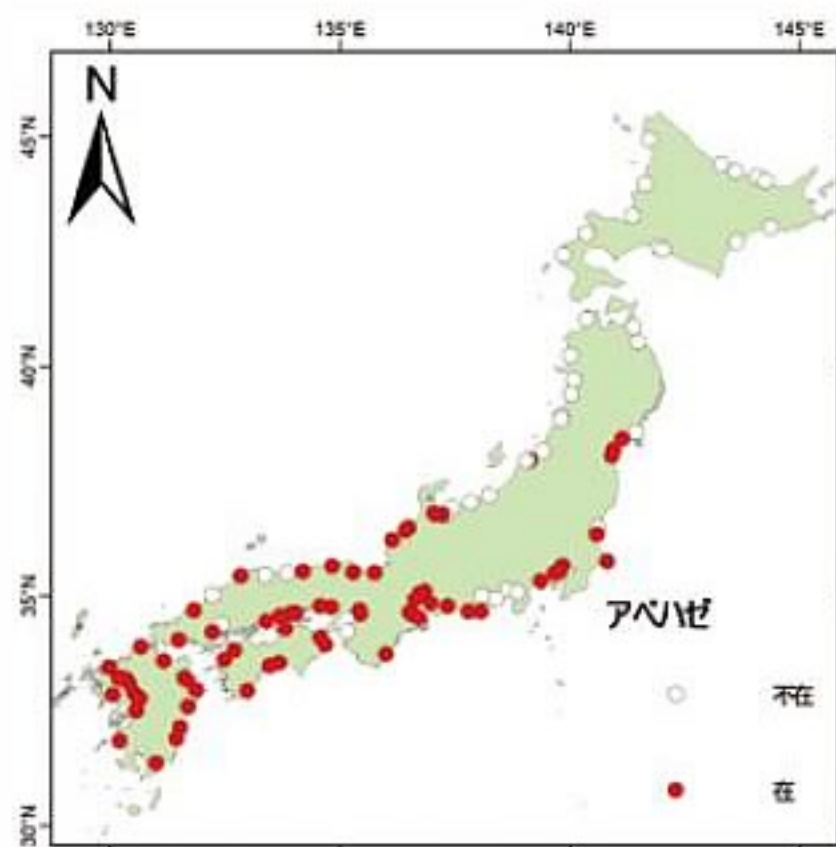


図2 アベハゼの生息河川

系中67水系で生息が確認されました (図4)。ウロハゼは、全長20cmほどになる魚です (岩田 2005)。ウロハゼは、アベハゼよりもさらに南方に寄った分布をしていて、北海道および東北地方では確認されていないという特徴があります。北は富山県の黒部川から、南の肝属川まで分布しています。関東地方以南・以西の太平洋側では、比較的多くの河川で確認されており、久慈川、那珂川、富士川、安倍川、小瀬川、重信川以外からは確認されています。これらの水系にウロハゼが本当に生息していないのか、あるいは調査地点設定の関係で、たまたまウロハゼの生息域に河川水辺の国勢調査の調査地点がなかったのかは不明ですが、調査地点が生息環境と重複していなかった可能性も十分考えられると思います。日本海側では、新潟県の河川 (荒川、阿賀野川、信濃川、関川、姫川) からは確認されていない



図3 ウロハゼ

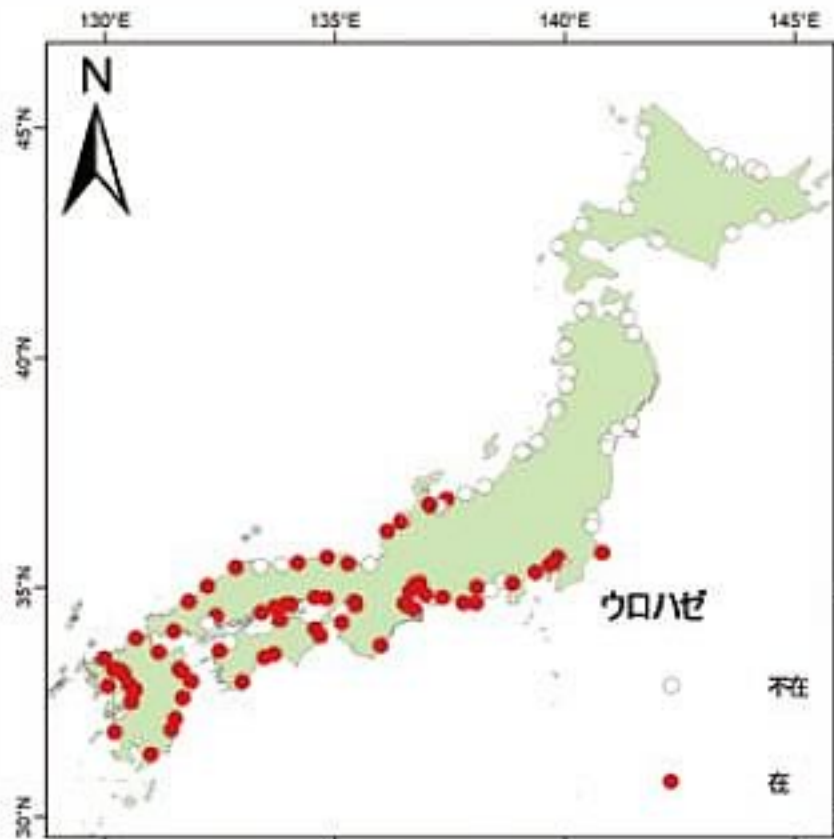


図4 ウロハゼの生息河川

一方、富山県以南・以西では比較的多くの河川で確認されており、常願寺川、神通川、手取川、北川、天神川、日野川以外の河川からは確認されています。本種の産卵生態については2021年10月号、人とのかわりについては2022年1月号で紹介した通りですので、是非ご参照ください。

生息する水系の数がウロハゼと同じで67水系(図5)だった種がチチブ *Tridentiger obscurus* (図6)です。チチブは、全長8cmほどになる魚です(岸 2005)。チチブは、今回登場したアベハゼやウロハゼよりは北方まで分布しており、これまで紹介した種の中では、前号で紹介したヒメハゼに比較的似ている分布パターンかもしれません。本種は北海道には分布しておらず、北は青森県の馬淵川から、南は鹿児島県の肝属川まで分布しています。東北以南・以西で生息していない河川を挙げると、東北地方では、岩木川、高瀬川、鳴瀬川、阿武隈川、米代川、最上川、赤川、関東地方では久慈川、荒川、相模川、北陸地方では荒川、信濃川、関川、姫川、小矢部川、手取川、中部地方では安倍川、大井川、天竜川、中国地方では天神川、高梁川、芦田川、四国地方では物部川、九州地方では筑後川、六角川、嘉瀬川、菊池川、白川、緑川でした。分布しない河川の特徴を見出すのはなかなか難しいですが、九州地方に着目すると、有明海流入河川、特に有明海の湾奥部に生息している河川から確認されていないという点が特徴的です。有明海流入河川で、本種が生息しているような環境で採集をすると、だいたい採集されるのが同じチチブ属のシモフリシマハゼです。全国的に見て、

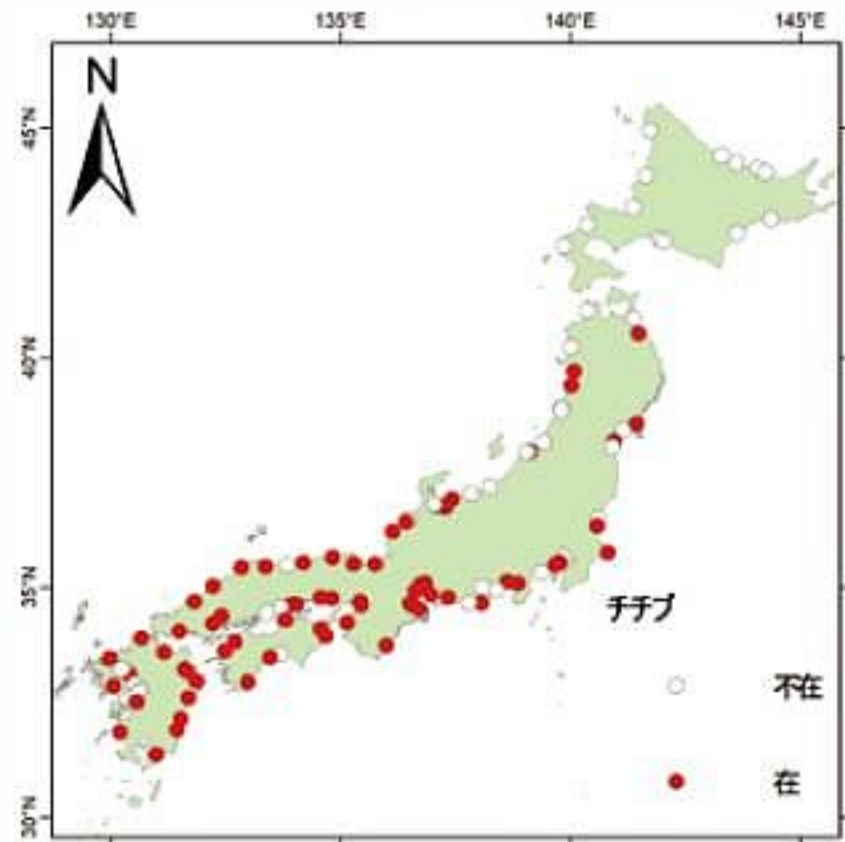


図5 チチブの生息河川



図6 チチブ

チチブとシモフリシマハゼが同一河川に生息している例は多いので、共存できないわけではないとは思いますが、他の海域の河川に比べて圧倒的に量が多いシモフリシマハゼが、何かしら影響を与えている可能性もありそうです。本種の産卵生態については2021年10月号で紹介した通りですので、是非ご参照ください。

次号は、出現河川数第8位以降の種について、今回同様に説明していきたいと思えます。

謝辞：河川水辺の国勢調査のデータは、公益財団法人 リバーフロント研究所からご提供いただきました。厚く御礼を申し上げます。

引用文献：

- 岩田明久：アベハゼ、山溪カラー名鑑 日本の淡水魚、山と溪谷社、2005
- 岩田明久：ウロハゼ、山溪カラー名鑑 日本の淡水魚、山と溪谷社、2005
- 岸 由二：ヒメハゼ、山溪カラー名鑑 日本の淡水魚、山と溪谷社、2005

いぬい りゅうてい
乾 隆帝 - RYUUTEI INUI -

- 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 教授
- 応用生態工学会編集委員
- 土木学会水工学論文編集委員
- 環境省レッドリスト検討委員
- 主な著書／
- レッドデータブック2014 4 汽水・淡水魚類—日本の絶滅のおそれのある野生生物—(2015)
- 魚類 福岡県の希少野生生物—福岡県レッドデータブック2014(2014) など

河川協会からのお知らせ

【令和4年度 治水事業促進全国大会】

令和4年11月16日(水)、治水事業促進全国大会が開催され、福岡県からは江頭福岡県議会議員・35市町村が参加されました。

また、山田 正中央大学名誉教授から「近年の水災害とこれからの治水対策」について特別講演が行われました。

その後、「治水関係事業の促進について」決議が行われ、地元選出国會議員の方々への要望活動に加え、財務大臣への特別要望を行いました。



【令和4年度 災害復旧促進全国大会】

令和4年11月17日(木)、災害復旧促進全国大会が開催され、福岡県からは江頭福岡県議会議員・嘉麻市赤間市長・大牟田市・朝倉市が参加されました。

国土交通省水管理・国土保全局防災課長から災害対策概況について説明があり、また、令和4年度災害復旧及び災害防止事業功労者表彰が行われました。

その後、「災害復旧促進に関する決議」が行われ、地元選出国會議員の方々へ要望活動を行いました。



【江頭会長から草野官房審議員に要望書が提出されました。】

【福岡県河川協会の要望活動】

福岡県河川協会は、通常総会において決議された災害復旧及び防災事業等の促進について、令和4年11月7日(月)国土交通省・地元選出の国会議員の方々へ要望活動を行いました。

福岡県では、平成29年から令和3年まで5年連続で大雨による甚大な被害が発生しました。

このため、災害からの早期復旧及び災害防止対策の推進、安定的な予算確保等について要望いたしました。

編集後記

河川協会では、3年ぶりに河川事業現地研修を開催しました。栃木県の関係職員の皆様には、大変お世話になりました。

最近、街中でも県外からの旅行者の方を多く見掛けるようになりました。

手洗い・うがい・ウイルス対策を万全にして、冬を乗り切っていきましょう。(山本・北川)

◆ STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川管理課内)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL:092-633-2826(直通)
FAX:092-643-3669
企画 アロー印刷株式会社

福岡県河川協会ホームページ

<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/>

